
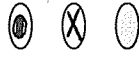


国語問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は十八ページある。ただし、ページ番号のない白紙は、ページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示に従い、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマーク、もしくは記入すること。所定欄以外のところには、何も記入しないこと。
5. マーク式問題の解答はすべて一つなので、二つ以上マークしないこと。
6. 字数が指定された問題では、句読点などの記号も字数に含む。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
8. 解答は楷書で正しく記すこと。薄い文字や小さな文字、点画をつなげた文字など、あいまいな文字は不正解とする。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は会場などに放置せず、必ず持ち帰ること。
13. 試験時間は六十分である。
14. マーク記入例

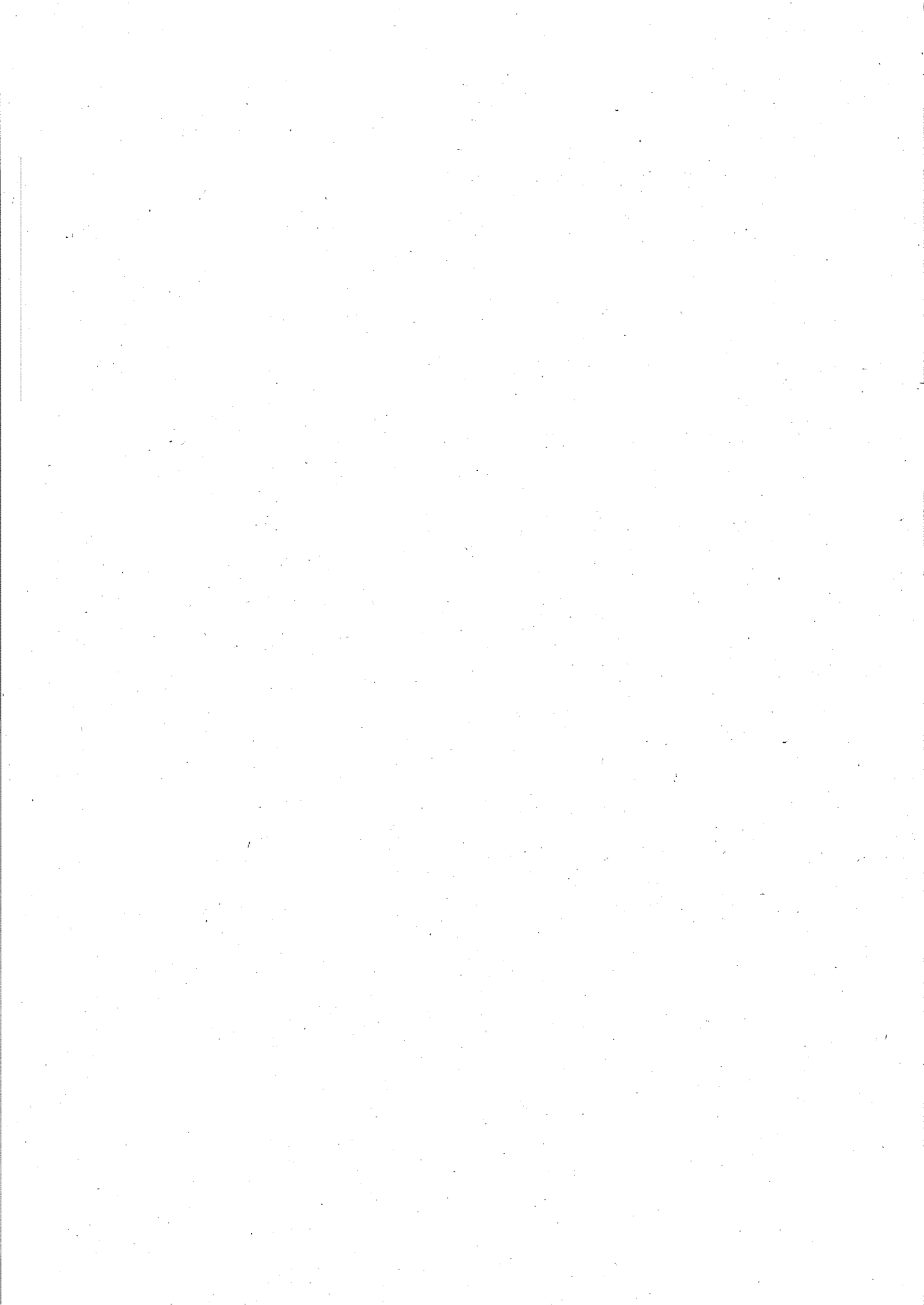
不正解になる文字の例

良い例	悪い例
	

(衣) 夜

(点) 点

(吾) 吾



一 次の記事は一九一四年に公にされたものである。この点に留意しつつ文章をよく読んで、設問に対する答えを、解答用紙の該当欄に記入、またはマークしなさい。

このごろ誤判問題がなかなかやかましくなつて、誤判に対する^①バイ償問題なども論議せられて居る。一体裁判と云うものは余程難しいもので、決して間違いないと断定することが容易に出来るものでない。それで更正と云うこともあり、再審と云うこともあり、また裁判に不満なものに対しては控訴、上告の途も開けて居る。しかし誤判と云うことが、人権に対して非常なる毀損を与うるものであることは疑いない事実であるからして、之が救済の方法を講ずることは勿論必要である。今日欧州文明国の法制を見るに、悪意に由る所の誤判は^②固よりその当局を罰し、故意または重大なる過失による誤判は、裁判官自らをしてバイ償せしめ、また時として国家がそのバイ償の責に任ずることもあると云う風になつて居る。人間の能力では到底防ぐことの出来なかつた所の誤判だけは、之を奈何ともすることが出来ないが、重大なる過失故意若しくは悪意による誤判に対しては大抵バイ償の規定があるのである。しかるに日本の現在においては、悪意の誤判は勿論之を罰するけれども、その他の場合に対しては明瞭な規定がない。之は是非早晩改正しなくてはならぬと思う。

しかしこの誤判問題などは我が司法制度の不完全なる、^③只僅かの一例に過ぎないのであつて、私の観る所によれば、我が司法部の諸種の弊害は、皆その根本に存する一大^④謬見から出て居るものと思う。依つて私はその根本的謬見を指摘し、司法部内及び部外の一般人と共に、之を矯正するのが、我が司法改正の最大急務であると思ふ。

我が司法部について全国一般の非難する点は何であるかと云うに、その第一は^⑤検挙が峻烈であつて且つ不条理であると云う事である。その第二は裁判が^⑥厳酷であつて非常識であると云う事である。

しからば何故、検挙も裁判も、峻烈厳酷であつて、且つ非常識不条理であるかと云うに、之は犯罪を容赦なく検挙裁判し、之に^⑦厳刑酷罰を科すると云うと、社会の道徳が進むと云う、非常に間違つた考えが本になつて居る。之は西洋でも支那でもそう云う事を考えた政治家が古来^⑧沢山あつたので、^⑨刑罰を以て一国の道徳を高めようとしたのは、決して現今の我が司法部の新

発見でない。しかし歴史を通観するに、この思想は何時も失敗に帰したのであって、かくのごとき事を行った結果は、只人民の思想が險悪になって、そして只法律と云うもの、国家と云うものを畏怖するの念慮しなくなり、犯罪に対しては「論語」に所謂免れて恥なしと云う事になってしまふ。従つて国家を愛するとか、社会生活を樂しむとか云う思想が甚だしく乏しくなりその結果国家を崩壊せしめ、若しくは社会の風キを紊乱するに至つたことは歴史の明らかに立証する所である。一体刑政の學と云うものは、古くより最も進歩したる學問であつて、その名称細目に多少の變化こそあれ、その實質大綱に至つては、⁵古も今も殆ど差異はないのである。さればこそ賢明にして達識ある政治家は、⁶刑罰を只藥として用うるに止めたもので、甚だしきを罰して、その他を戒飭し、国民道德の鼓舞作興は之を教育とか礼樂とかの力によつてやつたのである。⁴樂を以て道德を進めようとしたのなどは余程私は面白いと思つている。

しかるに我が司法当局の一部の人は、この古來失敗し來たつた、また賢明なる政治家の總て排斥し來たつた、間違つた思想手段を以て国民道德を維持せんとして居る。彼等は嚴刑酷罰を科すれば、商業道德も勃興するだろうし、教育界の腐敗も矯正されようし、官界民界總てに通じて、道德觀念が高まるだろうと考へて居る。しかし私は之は根本的謬見と思つのである。

それから、もう一つ日本の司法部にはわるい欠点がある。それは検事が司法省の要部を占めて居ると云う事である。頭官もまた検事に多くして、検事が最も部内に勢力あると云う事である。検事と云うものは如何に公平ならんとしても職掌柄どうしでもその思想が苛察嚴酷に流るるものである。それに前に云つたような、刑罰を以て道德を維持しようと思つて居るに漲つて居るからして、ドシドシ嚴刑酷罰を科する者の方が周囲の氣受けもよく、従つて榮達もする。之に反するものは榮達しないと思ふ。之は裁判官でも同じ事であつて、嚴刑酷罰主義の人の人が評判がよい。

そこに持つて來て、時恰も刑法が改正されて、刑の適用の範圍が非常に廣くなつて來た。適用の範圍が廣い所に、例の嚴刑酷罰主義を振り廻すんだからして、適用さるる方の迷惑はこの上もない次第である。

それから今一つの弊害は、司法部の人は只司法部の事の方に没頭して、犯罪や刑罰の事の外は何にも知らず、殊にその犯罪や刑罰が社会の他の各方面と如何なる關係を惹き起こすかについて全く考へないと云う事である。もつとも之は司法部のみに

限らず、日本の各方面にも通有の弊害であるが、司法部にはそれが一層甚だしいようである。社会の状態が複雑に赴き、学問並びに業務が分化した場合には止むを得ぬ事であるが、我が司法部は余り分化に過ぎて、社会の綜合統一との調和が全く欠けて居るのは遺憾である。即ち自分は只犯罪を檢挙し、刑罰を科する一種の器械のごとくなつてしまつて、その檢挙刑罰の結果が、有形上無形上社会にどんな影響を及ぼすかは全く考えていない。故に刑事の裁判官のごとき、被告人に刑罰を言い渡すと、その当人の刑罰を科せられた心理状態、生活状態またその家族親戚郷党等に及ぼす關係等を注意して居る人は恐らくなかろうと思う。また注意とか調査とかする機会もなく手続もない。全く只技師が技術を応用のごとく、器械が自分の運転能力を発揮して自ら運転するごとき有様であるから、法律の眞の目的を達する事に甚だ遠いのであつて、日本の現代の思想と相容れぬ非常識な考えが、独り司法部にのみ漲つて居るのは抑々それ故であらうと思う。それで一般国民から見れば驚くような檢挙や裁判があるのである。

今日我が日本は立派な立憲国法治国となつて、憲法や法律によつて人民の権利が保障されて居るのに、我が司法部の人が、人民に対する態度を觀れば、全く憲法及び法律の精神を無視し、殊に日本国民はすべて陛下の赤子である、自分等は陛下の赤子を檢挙し裁判するのであると云う觀念が全く欠如して居るごときと思はれる。この根本觀念が欠如して居るために彼等が職務に熱すれば熱する程益々邪徑に陥り益々人權蹂躪を敢てし、結局法律の目的と相反することをなすに至ると思う。この点は我が司法部の人に向けて呉々もその反省を促すと同時に、我が国民も常に司法制度に向けて心を用い、現在のごとき、誤謬と不完全とを矯正しなくてはなるまいと考える。

(小川平吉の文章による)

問1 傍線部①「バイ」、③「キ」を、それぞれ漢字で記しなさい。

問2 傍線部②「固」、④「樂」の読みを、それぞれひらがなで記しなさい。

問3 傍線部1「講ずる」ともつとも意味の近いものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 説明する
- 2 用意する
- 3 議論する
- 4 提案する

問4 傍線部2「司法部」について、本文中における説明として、もつともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 法の精神を体現した人格者ばかりが所属する集まりである。
- 2 信賞必罰を明確にすると世の秩序が保たれると考えている。
- 3 道徳心を養成するには遵法精神が不可欠だと主張している。
- 4 酷吏とでも評価されるような人が幅を利かせる集団である。

問5 傍線部3「刑罰を以て一国の道徳を高めようとした」とあるが、この考え方を何と呼んでいるか。本文中から六文字で抜き出しなさい。

問6 傍線部4「免れて恥なし」とはどういうことか。次の選択肢の中からもつともふさわしいものを選び、その番号をマークしなさい。なお、傍線部4は『論語』の「みちび之を道くに政を以てし、ととの之を斉ふるに刑を以てすれば、民免れて恥無し」という一節を意識したものである。

- 1 法の目をかいくぐることはかりに心を碎き、自身の悪行を省みない。
- 2 責任を追及されることを極度に恐れ、強弁して言い逃れようとする。
- 3 たとえ己の名声を失おうとも全く意に介さずに、厚顔無恥に振る舞う。
- 4 社会の調和を乱しても、法に触れさえしなければ悪も悪とは思わない。

問7 傍線部5「古も今も殆ど差異はない」とあるが、その理由の説明としてもつともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 刑政学は常に国から干渉されて継続的な研究を続けるのが困難なため、過去の成果を乗り越えることができないから。
- 2 刑政学はとうの昔に一定の学問的到達点を迎えているため、現在では劇的な進展を見せる余地が残されていないから。
- 3 刑政学の真理は古来より変わらないという守旧的な考え方がはびこり、新たな見解を打ち出しにくい空気があるから。
- 4 刑政学の研究領域を細分化して専門性を高めようとするあまり、大局を見通した論を展開することが困難であるから。

問8 傍線部6「薬として用うる」とは、どういうことか。次の選択肢の中からつともふさわしいものを選び、その番号をマークしなさい。

- 1 罪を犯した者に反省を強く促すために、耳に痛いことであろうとも直言すること。
- 2 同じ罪であつても一律の基準で裁くのではなく、情状によつて量刑を変えること。
- 3 罪の重さに応じて、適切な刑を科したり注意を与えて行いを慎ませたりすること。
- 4 抑止効果を期待して、厳しい刑罰を定めた上で前もつて民にも告示しておくこと。

問9 傍線部7「日本の各方面にも通有の弊害」はどのような状況で生じるか。本文中から二十六文字で抜き出し、その最初と最後の三文字を、解答欄に記しなさい。

問10 傍線部8「一般国民から見れば驚くような検挙や裁判」とあるが、驚かざるをえない根底には一般国民のどのような感情があるか。次の選択肢の中からもつともふさわしいものを選び、その番号をマークしなさい。

- 1 誤判による人権侵害の深刻さを認識しながら、十分な対策を練っていないことへの不満。
- 2 検事や裁判官が立身出世のために己の良心を捨て、容赦ない検挙や裁判をすることへの嫌悪。
- 3 法による規制があまりにも細かすぎ、一般人ではとても内容を理解できないことへの不安。
- 4 司法部が自分たちの論理だけで考えてしまい、社会に関心を払おうとしないことへの批判。

問11 本文の内容と合致するものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 司法制度の諸問題を解決するには、司法部に自己改革を促すだけでなく、国民自らも関与することが肝要である。
- 2 法律を厳格に適用すると人心が引き締まるが、円満な人間関係が損なわれるという副作用をもたらす危険性もある。
- 3 道徳心が高まると人は言動を慎むようになるため、法律がなくとも世の中の秩序は自ずと保たれるものである。
- 4 日本は法治国家だが、法を守るべき立場の司法部の人間が法を犯し、人権を踏みにじるといふ矛盾が生じている。

次の文章をよく読んで、設問に対する答えを、解答用紙の該当欄に記入、またはマークしなさい。

行うということ働くということは器械的である。従属的である。それ自身に価値をもっていない事である。神経の中等中枢で用の足る事である。わたしは人において最も貴いものは想うことであることであると信じている。想うことは最も自由であり、また最も楽しい事である。また最も賢く優れた事である。想うという能力によつて人は理解もし、設計もし、創造もし、批判もし、反省もし、統一もする。想うて行えばこそ初めて行うこと働くことに意義や価値が生ずるのである。人が動物や器械と異なる点は、この想うことの能力を持つてからである。また、文明人と野蛮人との区別も、この能力の発達不発達に比例すると思う。

なぜわたしがかような分かり切つた事を書き出したかという、日本人にはまだ考えるということが甚しく欠けている。特に日本婦人にはその欠点が著しく感ぜられる。わたしはそれを警告して、自他の反省資料としたのである。例えば現今の男子は、みな金銭を欲して物質的の利を得ることに努力している。それがために沢山の営利事業が起こり、幾多の資本家を富ましめ、多数の労働者が働いてはいるが、さて何故に金銭を要するかという根本問題について考えている人は極めて少ないのである。ただ盲目的に金銭の前に手足を動かしているに過ぎない。従つて、今の富といふ経済といふものは、人生の最も有用な目的のために運用せられずに、^①比相的、虚飾的、有害的な方面に蓄積し交換せられる結果となり、これを蓄積し交換する手段方法においても、罪悪と不良行為とをあえてして愧^はじず、いわゆる経済学とか社会学とか商業道德とかいふ事は、¹講壇の空文¹たるに留^とま^らずとも實際生活に行われていないのである。

考えるという事を働くという事よりも卑しい事とし、または協立しがたき事のように思い、甚しきは有害なりとして排斥しようとする風は、今の官憲にも教育者にも父兄の間にも行われている。「^{うんぬん}広く智識を世界に求め三云」と仰せられた維新の御誓文を拝したる以後の国民は、何よりも思想を重んずべきはずであるのに、今なおそのような蛮風^のの遺^つつているのは困つたものである。わたしはそういう保守頑冥な階級に対しては、ただ困つたものだと思うのみで、もはやどうしようという見込みも考

えもないが、願わくば新しい思想を尊び、新しい活動を実現しようとする進歩主義の人人の驥尾に従い、胸の鼓動をそれらの人人の調子と一つに揃えて、意義ある自分の生活を続けたいと思っている。

わたしはいろんな事を考える。考えること想うことは、それ自身に自足飽満の悦びがある。他人に発表せずとも、十分に目的を果たし得るものである。冥想とか静思とかの楽しみを知っている人の一生は、非常に幸福だと思ふ。またちよつとした事でも真面目に考える習慣を作ると、感情的にのみ行動する事がなくなり、理智の眼が開いて、反省し、批判し、理解する力が鋭敏になり、それを拡充すれば自己の思想、感情、行為に統一が出来て、破綻が減って行く。自己を理解すれば他人の思想をも理解が出来て、そこに正しい譲歩が、双方の非をなげうつことよって成り立つ。そうして自己を引つ提げて社会に順応し活動するに必要な自然の規律が完成されて行く。すなわち考えるという事は、保守主義者の憂惧する所と反対の結果を来たして甚しく倫理的な人格が出来上がるのである。

わたしはこういう自信の上から、一般の婦人に思想という事を奨めたい。我ら婦人は久しく考えるという能力を放棄していた。頭腦のない手足ばかり口ばかりの女であった。手足の労働においては、都会の婦人の一部を除く外、今日もなお男子を凌いで重い苦しい負担を果たしている。山へ行つても、海岸へ行つても、市街の各工場を覗いても、最も低額な報酬を受けている、最も苦痛の多い労役に服しているのは婦人である。それにかかわらず、男子より軽侮せられ従属者をもつて冷遇されているのは、ただ手足のみを器械的に働かして、頭腦を働かさなからである。そういう下層の労役に服している婦人は、しばらく措くとするも、明治の教育を受けたという中流婦人の多数が、やはり首なし女である。何らの思想をも持たないのである。

身体の装飾、煮物の加減、裁縫手芸、良人の選択、これらは山出しの女中もまた思う事であり、またよくする所である。良人の機嫌を取るという事も、現在の程度では狭斜²の女の嬌態²を学ぼうとして及ばざる位のものである。男子が教育ある婦人を目して心ひそかに高等下女の觀をなすのは甚しく不当の評価でない。一般男子の思想に比すれば、婦人は何事をも考えていない、何らの立派な感想をも持っていないといつてよいのである。

近年婦人解放という問題が出ている。しかしそれは婦人自身が言い出したのでなく、物好きな一部の男子側、議論ばかりで

実際にその妻女を解放しそうにない男子側から出た問題である。婦人にも少しは人並みの量見を持たせてやってもよいという、特に男子側からお慈悲を掛けてお世辞半分に言い出された問題である。そうしてこの問題は格別婦人側の注意を惹かなかつた。近頃はまたこの問題の反動として、多数の男子側から女子実用問題が唱えられて来た。すなわち女子に高等教育は不要だ、手芸教育が必要だ、女子は柔順に教育しなければならぬというのである。女子に高等教育を授ける弊害としては、折から英国に勢力を得て来た女子参政権運動を例に引いている。女子は永久に男子に隸属すべきものだ、解放などはもつての外だという権幕である。例の保守的思想が時を得顔に跋扈するのであるから、かような議論は毫も驚くに足らないわけであるが、そういう男子が自分らだけは昔から自由をキョウ得していたような態度であるから滑稽である。日本の男子は、維新の御誓文と憲法発布とによって、初めて人並みに解放せられたのではないか。自分らの解放せられた喜びを忘れて婦人の解放を押さえ、

A

昔の五障三従注2や七去説注3の繩目よりも更に苛酷な、百種のなかれ主義をもつて取り締まろうというのは笑うべき事である。しかし、かような目前の問題に対しても、我が国の中流婦人は何事をも知らないのである。

男子側から如何に多くの婦人問題を出されても、婦人自身に目を覚まさねば、この問題の正しい解決は着かないであろう。

B

在来の如き高等下女の位地に甘んぜざる限り、中流婦人が率先して自己の目を覚まし、自己を改造して婦人問題の解決者たる新資格を作らねばならぬ。それには何よりもまず想アう婦人、考える婦人、頭腦の婦人となり、兼ねて働く婦人、行う婦人、手の婦人となることが急務である。

「我は何者であるか」「我は人である。男女の性の区別はあつても、人としての価値は対等である」「我には生きたいという欲がある」「なるべく完全に豊富に生きたいという欲がある」「人は孤独にて生きることは出来ない。協同生活が必要である」「個人としても社会人としても、人はあらゆる幸福をキョウ得せねばならぬ。幸福の最上なるものは、個性を發揮して我が可能を尽くすと共に、互いに他の個性を理解しあい鑑賞しあうことである」。かような問題は、古往今来の大問題であつて、容易に解決しがたい事ではあるが、今日世界の文明人は皆この問題に触れて、ある者は懷疑に陥り、ある者は解決の曙光を認めたと

いつている。これは冷たい学究の哲学問題ではなくて、お互い自身の上に切実な根本問題である。

こういう問題はにわかには解決を得なくてもよい。婦人の頭脳がかかる根本問題に注意し、折に触れて識者に質し、父母、良人、兄弟、友人とこれについて研究し合うという程度に達すれば、自然読書の習慣も生じ、智識も聡明となり、感情も豊潤を増し、在来の婦人の悪習たる猜疑嫉妬の^②小感情や、^③低い物欲や、虚飾に浮き身をやつす心も一洗せられ、良人の機嫌を取つたり台所の用事にかまけたりして、貴重な一生を空費するような事がなくなり、初めて文明男子の伴侶として、対等なる文明婦人の資格を作ることが出来ようと思う。そうして男子より軽侮せらるる事なく互いに尊敬しあう位地上つたならば、諸種の婦人問題は自然に解決が着くであろうと思う。

男子側の保守主義者は、英国婦人の参政権問題の運動を伝聞して、婦人の覚醒を怖れるようであるが、我が国の婦人には、まだ容易にそういう突飛な運動は起らないであろう。なぜならば、我が国の青年には、男子にさえ政治熱は皆無なのであるから、すべての学芸すべての社会問題に冷淡なる日本の女子が、一躍そういう極端な新運動を試みようとは思われない。今後幾年かの後に、我が国の婦人が覚醒するとしても、政治には向かわないで、学問、芸術、教育などの方面に向かつて男子と競争の態度を取るであろうと思われる。^④殊に文学において、日本婦人は悔りがたい技倆を、古代においてしばしば実現しているから、相当の自信を持つてよからうと思う。

C 前に挙げたような宇宙人生の根本問題について最初から考えるに及ばない。とにかく何彼につけて疑問を出し理智を磨く習慣を作るのがよい。仏教で「智慧の光明」という事を説く。婦人に全く欠けているのは、自己の無明闇夜を照らす智慧の光明である。理智を磨くには数学とか、進化論とか、動植物学とか、心理学とか、法律学・経済学とかの書物を読む習慣を作るのもよい。読書をすれば自然心の天地が広くなって愚痴を破り、情念が高尚になつて卑近な物質欲などで煩惱の火を焚く事も減じて行き、日常の談話も上品になり、美貌ならぬ婦人も自然その風采が美しくなるものである。天照大神を礼拝する国の婦人は、すべてに卑屈なる旧習を脱し、我より文明婦人の範を示すほどの自負が欲しいと思う。

(筆者が一九二一年に発表した文章による)

注1 女子参政権運動⇨イギリスでは、十九世紀末から女性参政権運動が高まり、女性社会政治同盟(WSPU)のように戦闘的な団体も現れた。一九一八年、三十歳以上の女性に参政権が与えられ、翌年には女性社会政治同盟が解体された。

注2 五障三従⇨仏教において、女性が生まれつき備えている五種の障害と、女性が従うべき三つの道。

注3 七去説⇨儒教において、夫が妻を離別できる七つの理由。子のないこと、ねたみ深いこと、盗みをする事などの七つ。

問1 傍線部①「ヒ」、②「キヨウ」を、それぞれ漢字で記しなさい。

問2 傍線部③「猜疑」の読みを、ひらがなで記しなさい。

問3 傍線部ア「想う婦人、考える婦人、頭脳の婦人」とは対照的な意味で用いられた、軽蔑の感情を含む四文字の語句を、本文中から二つ抜き出して、解答欄に記しなさい。

問4 傍線部イに関連して、この文章の筆者は、『源氏物語』や『蜻蛉日記』、『栄花物語』などの女流文学の現代語訳をも発表している。歌集『みだれ髪』で名高いこの筆者の名前を、漢字で書きなさい。

問5 傍線部1「講壇の空文」とほぼ同内容の一節を、本文中から十文字で抜き出し、その最初と最後の三文字を、解答欄に記しなさい。

問6 傍線部2「狭斜の女の嬌態」とは、どのようなものか。次の中からもっとも適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- 1 自墮落に暮らす女の乱れた生活
- 2 体を売る女の甘えた身振り
- 3 家計が傾いた女の貧しい生活
- 4 富裕な女の過度なぜいたく

問7 傍線部3「低い物欲や、虚飾に浮き身をやつす」とほぼ同内容の一節を、本文中から十六文字で抜き出し、その最初と最後の三文字を、解答欄に記しなさい。

問8 空欄

A

く

C

に入る副詞の組み合わせとして正しいものを、次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | A | いやしくも | B | あながち | C | よしんば |
| 2 | A | よしんば | B | あまつさえ | C | いやしくも |
| 3 | A | あながち | B | よしんば | C | あまつさえ |
| 4 | A | あまつさえ | B | いやしくも | C | あながち |

問9 次の中から、筆者の主張や考えに合致するものを選び、その番号をマークしなさい。

- 1 考えることを卑しくて有害な行為と考える男性たちに対して、その間違いを積極的に訴えかけていきたい。
- 2 考えることが広く行われるようになれば、他人との相互理解が進み、倫理的な人格の確立が促進される。
- 3 男性の側から主張された婦人解放は、保守的な男性から反対されたため、女性からも共感が得られなかった。
- 4 考えることや想うことに目覚めたならば、女性たちは苦痛の多い労役から解放されることができるといえる。

三

次の文章をよく読んで、設問に対する答えを、解答用紙の該当欄に記入、またはマークしなさい。

安元三年三月一日ごろ、内裏にて、三位中将基通^{もととみち}、三位中将知盛^{とももり}、頭中将実宗^{まねむね}、左馬頭重衡^{しげひら}、権亮少将維盛^{ごんのすけ これもり}、隆房^{たかふさ}などやうの人々、あまた候^アふに、内^{注1}のうへ、仰せらるる様、「雨うち降りて、つれづれなる夜のけしきかな。目さめぬべからむことがな」と仰せらるれば、三位中将基通、「御あそび^Aなどや」と申し給^イふに、「そもただいま物の音などすみぬべうもあらず。うち^Bわらひぬべからむこともがな」とのたまはするに、左馬頭重衡、「いざ朝臣たち、ことひとつ案じ出でたるは」といへば、内のうへ、「例の重衡がさりげなくて面白きこと言ひ出づべきぞ」と仰せらるるに、「盗人のまねをして、中宮^{注2}の御方の女房たちおどし侍らむ」と申す。「いとよかなり」とて、各々いでたつ程に、「さてもあやしきものとて、道にて人にとがめられたらむはいかにぞ。辛^{かち}うもあるべきかな」とのたまはすれば、「さりとも、苦々しくならむ時は、あやまちすなと申してむ」とて、いでたつ。^D「なかなかおほくてはあしかりなむ。二人ばかりにてこそ」とて、重衡朝臣、隆房朝臣、各々直衣をうら返して着むとするに、隆房が直衣、柳裏にてありければ、「火影にも青からむはわろし」とて、維盛朝臣の桜の直衣に着がへて、各々直衣の衣の袖をときて、冠をつつむ。かやうにいでたちて、維盛を御使にて、御とのみに候ふ人々に、「女房たちの、きときといはむに、差し出づな」と仰せらる。^Eやをら行くほどに、西の台盤所にすこしはしちかき格子、遣戸の間に、女房少々ふしたり。太政大臣伊通^{いなるち}の女御^{むすめ}御殿、左大将兼長女大納言殿、朝方が女右京大夫君、すゑながが女の小少将の君などふしたり。各々単衣かさねて、唐衣着ながらうたたねなるさまなり。上に着たる衣を引き落とすに、あきれたる気色にて、うち見たまふ心地どもは、うたがひなき、おそろし物どもとこそおほ^ウしけめ。あるかなきかの気色どもなり。うち^Fわらはれぬべきを念じて、いづれもいづれもとりに出でぬ。さて、みな例のすがたになりて参りたれば、「しおほせたりや」とのたまはす。「かうかう」と、あり

X

よしを申せば、

「不便のことかな」とて、いみじくわらはせ給ふ。

〔「平家公達草紙」による〕

注1 内のおへ 〓 高倉天皇(二一六一―二一八二)。第八〇代天皇。

注2 中宮 〓 平清盛の娘・徳子(二一五五?―?)。高倉天皇に入内、中宮となる。

問1 傍線部A「あそび」の意味としてもっともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

1 双六

2 和歌

3 狩獵

4 音楽

問2 傍線部B「うちわらひぬべからむこともがな」の内容としてもっともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

1 笑えそうながあつたらいいのだが。

2 あまり笑わせないでほしいものだなあ。

3 笑い話になってしまいうそうなことだよ。

4 いつも笑いながら過ごしたいものだが。

問3 傍線部C「いとよかなり」の「なり」と文法的説明が同じになる用例を、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

1 雲雀あがる春辺とさやになりぬれば都も見えず霞たなびく(『万葉集』)

2 世のうきめ見えぬ山路へいらむには思ふ人こそほだしなりけれ(『古今和歌集』)

3 いつかわれ深山の宿のさびしきにあるじとなりて人にとはれん(『新古今和歌集』)

4 待たれつる入相の鐘の音すなり明日もやあらば聞かむとすらむ(『新古今和歌集』)

問4 傍線部D「なかなかおほくではあしかりなむ」の解釈としてもっともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 なかなかの人数なので足音がするだろう。
- 2 かえって大勢ではよくないことであろう。
- 3 けっこうな大人数なので不都合もあろう。
- 4 それほどの人数は不必要ではなからうか。

問5 傍線部E「やをら」の意味としてもっともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 まもなく
- 2 いみじくも
- 3 おもむろに
- 4 ゆくりなく

問6 傍線部F「うちわらはれぬべきを念じて」の内容としてもっともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 いたずらを見事に成功させた公達が、つい吹き出しそうになるのを我慢している様子。
- 2 いたずらを見事に成功させた公達が、「内のうへ」に笑ってもらえるように祈る様子。
- 3 無様な姿をさらけ出した女房が、みなから笑いにされないようにと祈っている様子。
- 4 無様な姿をさらけ出した女房が、「内のうへ」に笑われてしまうと心配している様子。

問7 傍線部「候ふ」、イ「給ふ」、ウ「おぼし」はそれぞれ誰に対する敬意を表しているか。もつともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 アは「人々」、イは「基通」、ウは「おそろし物ども」
- 2 アは「内のうへ」、イは「基通」、ウは「女房たち」
- 3 アは「人々」、イは「内のうへ」、ウは「おそろし物ども」
- 4 アは「内のうへ」、イは「内のうへ」、ウは「女房たち」

問8 空欄 X に入る語としてもつともふさわしいものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 べき
- 2 つる
- 3 けむ
- 4 たき

問9 本文の内容と合致しないものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 重衡と隆房とが、うたた寝していた女房たち全員の上着を奪い取ったことを報告したところ、「内のうへ」はたいそうお笑いになられた。
- 2 灯火のもとでは青い直衣が目立ってしまったため、隆房は維盛の桜の直衣に着替え、さらに袖で冠をつつんで顔が見えないように変装した。
- 3 変装した公達を泥棒だと信じ込み、無抵抗のまま上着を剥ぎ取られてしまった女房を、「内のうへ」はまことに気の毒なことだと仰った。
- 4 重衡と隆房とが、退屈しのぎのいたずらが成功したことを変装姿のまま報告しに参上すると、「内のうへ」はたいそうお笑いになられた。

問10 次の漢文は、本文の登場人物の一人である平知盛が、一ノ谷の戦いで敗走する様子を描いたものである。これをよく読んで、①②の設問の答えを、解答用紙の該当欄に記入、またはマークしなさい。

知盛為^リ武藏守。国人識^シ而追^フ之。垂^ニ及^ブ。其子知章時年十七。遮^リ鬪^ヒ。斬^リ其一騎、死^ス之。知盛得^テ間而遁^ル。下^リ馬^{ヨリ}上^ル舟。舟隘^ニ不容^レ馬。則北^ニ馬首^ヲ鞭^ツ之。馬躍^リ上^ル陸。田口成能曰、良馬也。与^リ其獲^ニ於敵^ニ、寧射^テ殺^ス之。知盛曰、吾由^リ此免^ル。不忍^レ殺^ス之。馬望^ミ知盛三嘶。終為^ニ義経所^レ獲。

(『日本外史』による)

① 傍線部「為^ニ義経所^レ獲^ル」を、訓点に従って書き下し文に直しなさい。その際、五つの漢字はひらがなにせず、そのまま用いること。

② 右の漢文の内容と合致するものを、次の選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 知盛の乗っていた馬は舟に乗り切らなかつたので、田口成能の手によって泣く泣く射殺されてしまった。
- 2 知盛は苦楽をともした馬と別れるぐらいならば、射殺してしまおうかと考えたが、実行できなかった。
- 3 知盛は死地をかううじて脱することができたが、その代償として十七歳の息子と名馬を失ってしまった。
- 4 知盛は十七歳の息子とともに戦いの先頭を切つたが、最後は義経に名馬を託して舟に乗って逃げ去つた。